

かすかべし出前講座

---

# 「彫刻めぐり」

令和5年9月27日(水)

春日部市教育委員会 社会教育課

# 彫刻のある街づくり そのはじまり・・・

---

- ・平成元年ころ「ふるさと創生事業」について、アイデアや提言を市民から募集。
- ・129件もの応募があり、「芸術パーク・芸術モール事業」、「彫刻展示ストリートの建設」が最優秀作品として選ばれる。
- ・このアイデアを、「彫刻のある街づくり  
—アート・アメニティ構想—」としてまとめた。

# 彫刻のある街づくり —アート・アメニティ構想—①

---

- ・ 古利根公園橋を核とした、古利根親水空間を、野外美術館として位置づけ
- ・ 市民文化会館、駅前広場、公園などの「点」を、学校通りやかすかべ大通りなどの「線」で結びネットワーク化

# 彫刻のある街づくり —アート・アメニティ構想—②

---

- ・ 駅西口においても有機的な機能をもたせ、彫刻と都市や自然との調和を図る
- ・ 合理的に美しくかつ個性的な都市づくりを推進すると同時に、文化的な“ゆとり”や“うるおい”を感じさせる街を目指す

# ところで ふるさと創生事業って...？

第74代竹下内閣の時、地域振興のため、各市町村に1億円を交付した「ふるさと創生1億円事業」ともいわれるもの。

正式名称は

「自ら考え自ら行う地域づくり事業」

自治体ごとに創意工夫し、地域振興を図る動きが各地でみられたが...

# ふるさと創生事業…。 他自治体の使い道をちょっと紹介

---

群馬県 榛東村 (しんとうむら) → **貯金**

15年間で6,000万円の利子がついたそう

大分県 竹田市 (たけたし) → **温泉掘削**

水を掘り当て、「水の駅おづる」として今も活用

山梨県 丹波山村 (たばやまむら) → **日本一長い滑り台**

完成から3日後、さらに長い滑り台が静岡県に…

# 彫刻の設置を開始

---

当時の建設省から、モデル都市の指定を受けた駅東口古利根公園橋を中心に、主な施設や道路をメインに設置

|          |     |
|----------|-----|
| 平成2年、3年  | 9体  |
| 平成4年～10年 | 10体 |
| 平成20年    | 1体  |
| 平成22年    | 1体  |
| 平成25年    | 1体  |

平成2、3年



9体





# ①「フォーム」

千野 茂 (ちの しげる)

素材：青銅

高さ：84.5cm

平成3年に設置

腰かけた女性が、足先に手を伸ばした姿。作者は、そのかたちから生まれる有機的フォームの中に生命の鼓動を表現した。

## ②「茉莉花（まつりか）」

舟越 保武（ふなこし やすたけ）

素材：青銅

高さ：205cm

平成2年に設置

身体のねじれによる美しさ、その微妙なリズムは太陽光による明暗をも作品の一部としている。作者は、1986年に脳梗塞に倒れ、右半身が不自由になったが、亡くなる2002年まで、左手で創作を続けた。



# ③「思い出」

山本 正道 (やまもと まさみち)



素材：青銅

高さ：95cm

平成3年に設置

誰もが持っている、遠い記憶の中の風景。それを刻み付けている姿を、物静かなフォルムで表現した、心温まる作品。

## ④「ジーンズ・夏」

佐藤 忠良 (さとう ちゅうりょう)

素材：青銅

高さ：178cm

平成2年に設置

木綿の生地と身体が織りなすシワの起伏が、呼吸しているようにも見えるこの作品。これ以外にもジーンズの女性を20体ほど彫刻にしてきた作者は、当時の日本人としては初めて、パリ国立ロダン美術館で個展を開催した。



## ⑤「夏」

桑原 巨守 (くわばら ひろもり)



素材: 青銅

高さ: 192cm

平成3年に設置

輝く太陽、爽やかな風を感じさせる少女の像。この作品だけ少し色が違いますが、清々しい夏の1ページを表現するため、着色をしなかったのだらうと予想します。

# ⑮「瑶韻」

一色 邦彦 (いしきくにひこ)



素材：青銅

高さ：160cm

平成3年に設置

笛の音色がいまにも聞こえてきそうなこの作品。作者は、音楽の調べに身をゆだね、心のやすらぎを得る至福のひとつときへのあこがれを造形することで、人類の平和を祈念したとコメントしています。



# ①「道標・鳩（どうひょう・はと）」

柳原 義達（やなぎはら よしたつ）



素材：

鳩→青銅

イス→黒御影石

高さ：43cm

平成3年に設置

中央図書館前に設置され、銅製の孔雀鳩とともに、石製のイスに座って休むこともできるこの作品。作者の柳原先生は彫刻の制作にあたり、実際に孔雀鳩を飼育されたとのこと。

# ⑱「神話Ⅱ (しんわつー)」

加藤 豊 (かとう ゆたか)



素材：青銅

高さ：325cm

平成2年に設置

文化会館に足を運んだ方なら、一度は目にしたであろうこの大きな彫刻。

ギリシャ神話のゼウスとレダで「愛と憎しみ、求めあうもの」を表現しています。



# ①「小さい花」

黒川 晃彦(くろかわ あきひこ)



素材:

人物→青銅

イス→アルミニウム

高さ:120cm

平成3年に設置

教育センター前にあるこの作品はまだ未完成・・・。

それは、実際にベンチに人が座って、彫刻と同じ空間を共有した時、作品は完成するからだとのこと。

# ブロンズ＝銅 は間違い...？

---

銅 … Copper(カッパー)

青銅 … Bronze(ブロンズ)

→ 銅・錫・亜鉛・鉛を主体とした銅合金

オリンピックの銅メダルは、本当は青銅メダル ■

※銅メダルには明確な規定がないため、銀メダルに真鍮のメッキ加工したものが使用されることも。

# 身近なアレも銅合金

---

|        |                        |
|--------|------------------------|
| 500円硬貨 | 銅75%、亜鉛12.5%、ニッケル12.5% |
| 100円硬貨 | 銅75%、ニッケル25%           |
| 50円硬貨  | 銅75%、ニッケル25%           |
| 10円硬貨  | 銅95%、亜鉛3~4%、錫1~2%      |
| 5円硬貨   | 銅60~70%、亜鉛30~40%       |
| ※1円硬貨  | アルミニウム100%             |

平成4～10年



10体



## ⑥「月に吠える」

手塚 登久夫(てづか とくお)

素材：黒御影石

高さ：180cm

平成5年に設置

長年、フクロウをモチーフにした作品を彫り続けた作者。

フクロウも台座も同じ素材で作られているが、違った印象を受ける。



## ⑦「記念撮影-風がー」

峯田 敏郎(みねた としろう)



素材：青銅

高さ：123cm

平成7年に設置

突然の風で帽子が飛ばされ、髪がたなびく。

そんな一瞬を切り取った、さわやかさを感じる作品。

## ⑧「あのね」 廣嶋 照道(ひろしましょうどう)



素材：青銅

高さ：110cm

平成9年に設置




糸電話で遊んだ遠い日のひとコマを捉え、おおらかで豊かな心が育つようにという願いを込めて作られた作品。

この彫刻には、少女のほかにある生き物が隠れている。

# ? ? 彫刻クイズ! ? ?

実はこの作品の中には、2人以外に「ある生き物」が隠れています。さて、その生き物とは??

ヒント! 右の女の子の右ポケットに注目!

- ① カエル 
- ② リ ス 
- ③ ネ コ 

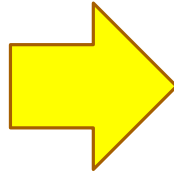


# 正解は・・・

---

## ② リス

なぜリスがいるのかは実は分かっておりませんが、もしかしたら作者の思い出の1ページなのかもしれません。



## ⑨「詩想」

綿引 道郎(わたびき みちお)

素材: コールテン鋼

高さ: 230cm

平成5年に設置

若き詩人の姿を表現したこの作品。素材はコールテン鋼といい、時間が経つにつれ表面に錆が出てきます。それが保護膜となり、また、独特の風合いを醸し出します。



# ⑩「煌(こう)」

森田 やすこ(もりた やすこ)



素材：青銅

高さ：110cm

平成4年に設置

これから伸びて行く若いひとりの、飾り気のない、ふとした時に見せる美しさ、その煌きを表現した作品。

女性の内に秘めたエネルギーも感じさせる。

# ⑪「響き」

吉本 豊(よしもと ゆたか)



素材：黒御影石

高さ：178cm

平成10年に設置

ヴァイオリンとチェロを持った二人。  
彼らの素晴らしい演奏に、そのハーモニーに耳を傾けてみてください。  
きっとあなたの心にゆとりと安らぎが訪れることと思います。





## ⑫「風になるとき」

西野 康造 (にし の こうぞう)

素材: チタン合金、鉄、  
ステンレス

高さ: 550cm

平成7年に設置

社会教育課が管理するもので一番高さのある作品です。

大空を羽ばたく鳥をモチーフにしたこの作品、なんと、本当に羽ばたきます。



## ⑬「おでかけ」

藤原 吉志子 (ふじわら よしこ)

素材：青銅

高さ：200cm

平成8年に設置

平和を願い、心躍る出会いや友情のため、さっそうと出かけようとしているウサギをモチーフにした作品。道路に背を向けているのは、春日部駅に向かっているからなのだとか。

# ⑭「旅人・樹陰 (たびびと・こかげ)」

池田 宗広 (いけだ むねひろ)

素材：真鍮、コールテン鋼

高さ：160cm

平成4年に設置

旅人が、木陰でちょっと一服している様子を表現した、まちなみ公園に設置されたこの作品。公園の実際の木を作品の一部とした、味わい深い彫刻です。





## ①⑥「風の門」

峯田 義郎(みねた よしろう)



素材：青銅

高さ：80cm

平成4年に設置

古代と現代の対比、そのイメージを表現したこの作品。作者は「記念撮影-風が-」の峯田 敏郎先生の実のお兄様です。

どちらも作品名に【風】が入っているのは偶然なのでしょうか…？

# ブロンズ(青銅)だけじゃない！ ～所管彫刻の素材～

---

① 青銅

② コールテン鋼

③ 真鍮

④ アルミニウム

⑤ 鉄

⑥ ステンレス

⑦ チタン合金

⑧ 黒御影石

⑨ 白御影石

# 黒御影石の光沢

彫刻「月に吠える」素材は全て黒御影石



← 台座には光沢がありますが、

フクロウには光沢がありません→

✨ 磨けば光沢が現れます ✨



ではなぜフクロウは磨かななかったのか？

石の凹凸をあえてそのまま残すことで、フクロウの身体をリアルに表現したのではないのでしょうか。

# コールテン鋼って...？



鋼の最大弱点の「さび」を、「さび」で防ぐという  
独特の形で克服した耐候性の素材。

初めは普通鋼と同様に錆びますが、その後  
表面に緻密な保護性さびを形成し、  
それ以降のさびの進展を抑制します。

※決して管理を怠っているわけ  
ではございません。



平成  
20  
・  
22  
・  
25  
年



1  
体  
ず  
つ



## ②〇「道程(どうてい)」 伊藤 正人(いとう まさひと)



素材：黒御影石、  
白御影石

高さ：170cm

平成22年に設置

忙しい毎日だからこそ、自分自身を見つめ、真の自分に立ち返るため、彫刻の前で足を止め、その一時を感じてほしいとの気持ちが入められた作品。

## ②1「収穫祭」

清水 啓一郎 (しみず けいいちろう)



素材：黒御影石、真鍮

高さ：134cm

平成25年に設置

猫は家族を、りんごは大切な人を思う気持ちを表現しています。春日部に帰る人も、これから出かける人も、いつでもそっと見守っています。



## ②②「大空」

加藤 豊 (かとう ゆたか)

素材：青銅、アルミニウム

高さ：110cm

平成20年に設置

1人の少女が、市の鳥「ユリカモメ」に守られながら、大空を高く自由に飛んでいるイメージを表した作品。

市役所の引っ越しの際、この彫刻も一緒に引っ越します。



# 設置から30年以上経つものも...。 キレイに保つには??

---

雨風や排気ガス、鳥の糞やクモの巣の影響や、銅像においては保護膜が剥がれたまま放置すると作品内部の酸化が進み、大変な被害を受けることが予想されます。

そこで、社会教育課が所管している22体の彫刻については、業務委託によるメンテナンスや、ボランティアによる清掃を年2回実施しております！

# 社会教育課が管理していない 彫刻も多数あります

ここで紹介したものの以外にも、市内にはたくさんの彫刻がありますので、ぜひ探してみてください♪ その一部は、芸術文化ホームページ「かすかべ遊学」で紹介していますので、右の二次元コードからぜひチェックを！！

かすかべ遊学

検索



# 最後に

---

今回の資料やパンフレットを片手に、彫刻を「見る」だけでなく、「観て」みてください👁️

作品ひとつひとつにドラマがあり、作者の思いがあり…。人によっていろいろな感じ方があると思います。皆さまの目で直接観て、その物語を感じていただけたら幸いです♪

そこで得た不思議や疑問については、ぜひ、社会教育課までご連絡ください！！

# ご清聴ありがとうございました

---

